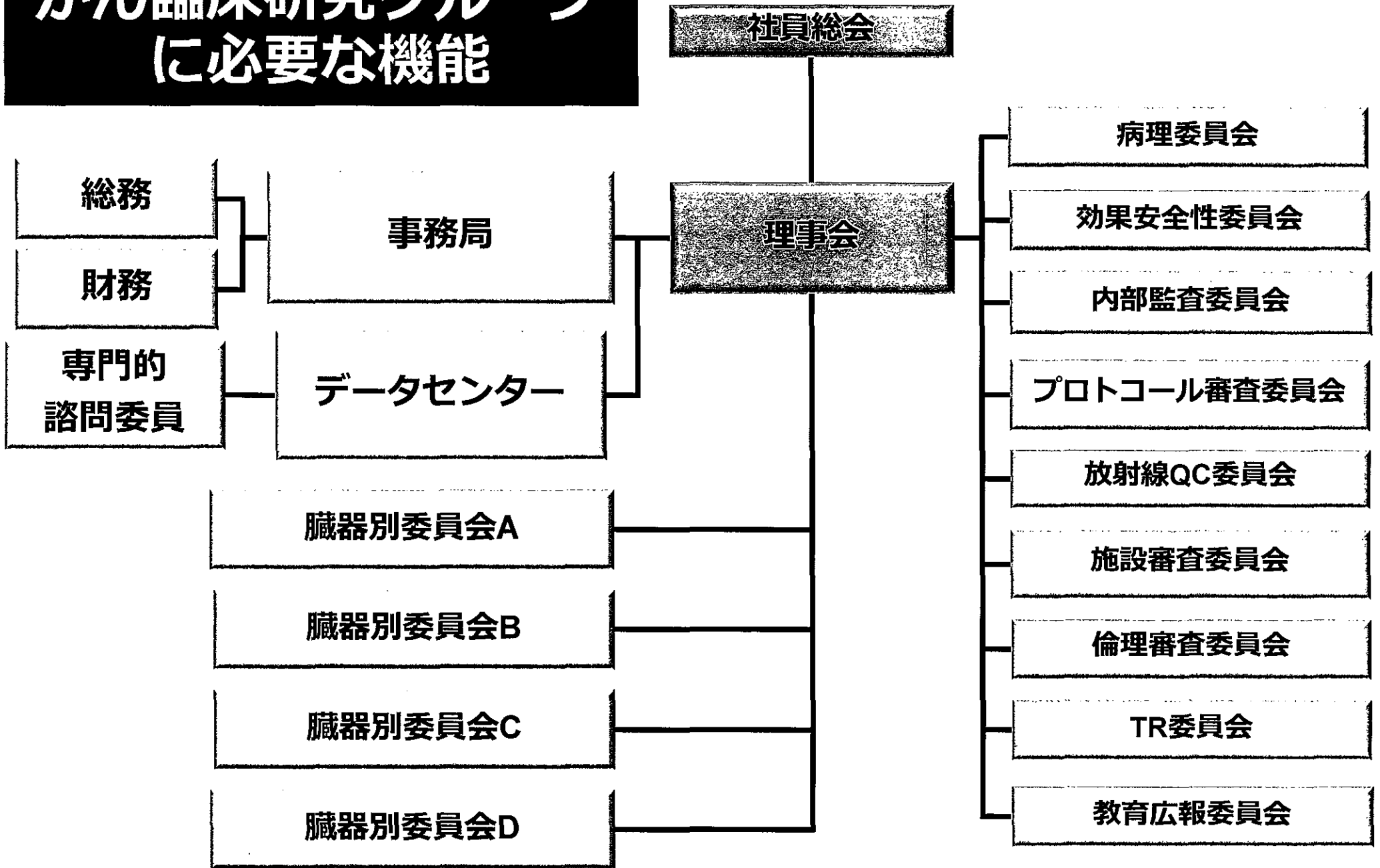


# がん医療の向上と臨床試験

---

1. がん医療はエビデンスに基づいて実施される
2. エビデンス構築には臨床試験が必須
3. 大規模比較試験から導出されるエビデンスは多施設共同試験のみから生じる
4. 世界でも日本でもこれを担っているのは臨床試験グループ
5. がんの性質・がん治療薬の反応性に人種差があることが認識され日本人にとってのエビデンスが求められ始めた
6. 国民の信頼を得るためには公的資金による支援が望ましく、かつエビデンス構築に有効

# がん臨床研究グループ に必要な機能



# がん臨床試験グループの課題

---

- 1) 透明性、公正性、合理性、倫理性の向上
  - 2) 研究の質を担保した上での、迅速化
  - 3) 活動基盤の強化（データセンターと支援組織）
  - 4) 財政基盤の強化
  - 5) 情報提供と啓発活動の推進
  - 6) 医師主導治験の推進
  - 7) グループ間・国際共同試験の推進
  - 8) 教育と人材育成
- ・ 企業との連携は重要だが、透明性・公正性の担保と活動基盤の整備・向上には公的資金配分が必要

# NPO

疫学臨床試験研究支援機構 (ECRIN)  
関西臨床腫瘍研究会 (KCOG)  
がん臨床研究機構 (CORE)  
胸部腫瘍臨床研究機構 (TORG)  
埼玉乳がん臨床研究グループ (SBCCSG)  
つくば癌臨床試験グループ (TCTG)  
中部臨床腫瘍研究機構 (CCOG)  
東北臨床腫瘍研究会 (T-CORE)  
中日本呼吸器臨床研究機構 (CJLSG)  
西日本がん研究機構 (WJOG)

日本肝がん臨床研究機構 (JLOG)  
日本がん臨床試験推進機構 (JACCRO)  
日本婦人科腫瘍化学療法研究機構 (JGOG)  
日本放射線腫瘍学研究機構 (JROSG)  
日本臨床研究支援ユニット (JCRS)  
ひろしまがん治療開発推進機構 (HiCTDO)  
北海道消化器癌化学療法研究会 (HGCSG)  
Organization for Oncology and  
Translational Research (OOTR)

# 一般社団法人

北関東婦人科がん臨床試験コンソーシアム  
(GOTIC)  
九州臨床研究支援センター (CReS九州)

日本多国間臨床試験機構 (JMTO)  
Japan Breast Cancer Research Group  
(JBCRG)

\* web上で検索回数が多いもの、最近のUMINへの臨床試験登録実績があるものから抜粋

# がん研究の出口戦略強化について

---

- 1.人材：がんプロ・がん拠点病院の教育成果の評価、人材育成の継続的支援、学部教育への臨床研究・試験教育の組み入れ
  
- 2.規制：
  - 1) 新規医薬臨床開発の迅速化のための規制対応
  - 2) ICH-GCP：研究者主導臨床試験をGCP水準へ到達させるための柔軟かつ周到的な施策
  
- 3.開発：良質な臨床試験グループへの重点的支援